
竜殺しの英雄 設定集

しんや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

竜殺しの英雄 設定集

【Nコード】

N2714Y

【作者名】

しんや

【あらすじ】

こちらは『竜殺しの英雄』の設定集となります。本編で出ていない情報も含まれていますので、ご注意ください。

『種族』

●種族は『VLO』と同じく、確認されているものだけで23種存在する。

●『人族』

そのまま人間。

特に特徴がないのが特徴だが、最終的にはどの種族にも優るステータスとなる可能性を秘めている。

魔導兵装を含め、ほとんどの武具を装備できる。

魔術も邪属性を除く全属性を扱うことができるが、精霊魔術は下級までしか使えない。

一番器用な種族だが器用貧乏にもなりやすい。

LVがかなり上がりにくく、人気の無い種族。

●『亜人族』

『獣人族』、『鬼人族』、『ハーフエルフ』の総称。

○『獣人族』

豹、狼、獅子、鳥の獣人がいる。

魔術は自己強化系以外使えないが、【獣化】、【完全獣化】という種族固有スキルが使える。

ただし、鳥の獣人『有翼族』は魔術を使える。

『有翼族』以外は共通して、INT、WISが伸びにくい。

・『豹族』

ステータスは平均的だが、AGIが伸びやすい。

武具は中量級まで装備できる。

耳と尻尾が生えてます。

・『狼族』

ステータスは平均的で若干STRが伸びやすく、【気配察知】にボーナスが付く。

武具は中量級まで装備できる。

耳と尻尾が生えてます。

・『獅子族』

ステータスはSTRが伸びやすく、AGIが伸びにくい。

武具は重量級まで装備できる。

髪が鬣の形で、耳、尻尾も生えてます。

・『有翼族』

ステータスはINT、WIS以外は貧弱だが、風属性魔術が得意で、種族固有スキル【飛行】で空を飛べる。

しかし、【飛行】はSPの消費が激しく、長時間は飛べない。

武具は軽量級までしか装備できない。

背中に翼が生えてます。

○『鬼人族』

『鬼族』と『人族』との『半血種^{ハーフ}』。

見た目は『人族』とほぼ同じで、『鬼族』と同様に角が生えているが長さは短い。

魔術は自己強化系以外は使えない。

ステータスはSTR、VITが伸びやすい。

武具は重量級まで装備できる。

『鬼族』とは違い【狂化】、【完全狂化】は使えない。

○『ハーフエルフ』

『エルフ』または『ダークエルフ』と『人族』との『半血種^{ハーフ}』。

容姿は『エルフ』や『ダークエルフ』とほぼ同じだが、耳はそれ

ほど尖っていない。

ステータスはINT、WISが若干伸びやすい。

邪属性を除く全属性魔術を扱えるが、ステータスの関係で『エルフ』や『ダークエルフ』には劣る。

武具は中量級まで装備できる。

●『妖精族』

全種族の中で、最も多くの種類の種族がいる。

○『エルフ』

ファンタジーにお馴染の種族。

すらっとした容姿で金髪の美男美女が多い。

耳も尖っている。

ステータスはINT、WISが伸びやすく、他のステータスは伸びにくい。

魔術は全基本属性と光属性を扱える。

【採取】にボーナスが付き、熟練度が上がりやすく、レアな薬草を入手しやすい。

上位種族は『ハリエルフ』と呼ばれ、邪属性と闇属性を除く、全属性魔術を扱えるようになる。

武具は軽量級しか装備できない。

○『ダークエルフ』

こちらもファンタジーにお馴染の種族。

ステータスは『エルフ』と基本的には変わらないが、STRやVITは少し伸びやすい。

容姿も『エルフ』とほぼ同じだが、肌は浅黒く、髪が銀髪。

魔術は全基本属性と闇属性を扱える。

こちらも【採取】にボーナスが付く。

上位種族は『ハイダークエルフ』と呼ばれ、邪属性と光属性を除く、全属性魔術を扱えるようになる。

武具は軽量級しか装備できない。

ちなみに、特に『エルフ』と仲が悪いということはない。

○『ドワーフ』

ステータスはSTR、VITがかなり伸びやすく、全種族の中でもトップクラス。

その反面、AGIはかなり伸びにくい。

しかも、身長が1.4mほど——『VLO』ではそれ以上に設定できない——なので、リーチが短い。

鍛冶が得意で【鍛冶】の熟練度が上昇しやすい。

髭がモジャモジャしている。

○『サラマンダー』

二足歩行の赤くでかい蜥蜴のような見た目。

モンスター（魔獣）の『リザードマン』と似ているので良く間違えられる。

火属性魔術が得意で熟練度が上がりやすいが、水属性魔術は使えない。

だが、あまり魔術は得意ではない。

ステータスはSTR、VITが伸びやすい。

気温の高い場所——砂漠など——では、ステータスにプラス補正がかかる。

武具は重量級まで装備できる。

○『ウンディーネ』

見た目は『人族』と変わらないが、種族的に蒼髪、碧眼。（『VLO』では変更できない）

水属性魔術が得意で熟練度が上がりやすいが、火属性魔術は使え

ない。

ステータスはSTR、VITが若干伸びにくく、AGI、INT、WISが若干伸びやすい。

唯一魔術の補助無しで、水中で行動ができる種族。

そのためのスキル、【人魚化】^{マイメイト}使用時には、その名の通り人魚のような見た目になる。

余程のレベル差が無い限り、水中での戦闘では他種族には負けない。

その代わり、気温の高い場所ではステータスにマイナス補正がかかる。

武具は中量級まで装備できる。

○『シルフ』

一番妖精っぽい見た目。

身長は1mほど。

男性は蜻蛉、女性は蝶のような透き通る翅があり、全種族の中で唯一【永続飛行】が使える。

ただし、飛ぶことのできる限界の高さは10mほどなので、山などを飛んで越えるのは無理。

風属性魔術が得意で熟練度が上がりやすいが、土属性魔術は使えない。

ステータスは見た目通り、STR、VITがかなり伸びにくく打たれ弱い、AGIはかなり伸びやすい。

武具は軽量級しか装備できない。

『VLO』では女性に人気のあった種族の1つ。

○『ノーム』

身長は『ドワーフ』と同じくらいで1.4mほどだが、『ドワーフ』が比較的筋肉質なのに対し、『ノーム』は少しぽっちゃりとした体形。（『VLO』では身長と同様に変更できない）

ステータスはSTR、VITが伸びやすく、AGIが伸びにくい。
『ドワーフ』と同じくリーチも短い。

ただし、全種族の中で唯一土中を移動——攻撃などの行動はできない——できる。

この【土中移動】のスキルは、同じ効果を持つ魔術やスキルは存在しないため、完全に『ノーム』固有。

しかし、それほど深くは潜れないし、山や川といった地形を、土中に潜ったまま越えることはできない。

ただし、土中は【ハイドインク気配隠蔽】にかなりのボーナスが付くため、奇襲には向いている。

土属性魔術が得意で熟練度が上がりやすいが、風属性魔術は使えない。

武具は重量級まで装備できる。

余談だが、『VLO』では若いプレイヤーにはあまり人気は無かったが、何故かおっさんプレイヤーには人気があったらしい。

○『ケットシー』

見た目は完全に二足歩行の猫。

何故か強制的に語尾が「ニャ」になる。

ステータスはAGIはかなり伸びやすいが、他は平均的。

【遠視】にボーナスが付き、高所落下時のダメージが軽減される特徴がある。

武具は中量級まで装備できる。

○『レプラコーン』

見た目はほぼ『人族』と変わらないが、髪に少し金属光沢がある。ステータスはSTRが伸びやすいが、他は平均的。

【採掘】にボーナスが付き、熟練度が上がりやすく、レアな鉱石を入手しやすい。

武具は中量級まで装備できる。

○『スプリガン』

見た目はほぼ『人族』と変わらないが、黒髪、黒目で肌も浅黒い。
(『VLO』では変更は不可)
ステータスはどれも平均的。

【暗視】、【罨確認】、【罨解除】にボーナスが付くので、迷宮探索時には何かと役に立つ種族。
武器は中量級まで装備できる。

●『魔族』

『魔族』、『鬼族』、『巨人族』の総称。
基本的にスペックは高いが、一長一短な種族。

○『魔族』

見た目はほぼ『人族』と変わらないが、肌が浅黒く、瞳は紅く瞳孔が縦に裂けている。

魔術が得意な種族なので、『魔族』と呼ばれる。
ステータスはINT、WISはかなり伸びやすいが、他は伸びにくい。

魔術は邪属性を除く、全属性を扱うことができ、転生前でも上級魔術まで使うことができる。

転生すれば最上級魔術まで扱うことができ、どの属性の熟練度も上がりやすい。

武器は軽量級しか装備できない。

○『鬼族』

見た目は『人族』とほぼ同じだが、身長は2mほどかなり高い。
(『VLO』ではこれ以下に設定できない)

ただし、頭に角が生えていて、最初の内は1本だが、レベルが一

定値を超えるごとに最大3本まで増える。(これは『鬼人族』も同じ)

ステータスはSTR、DEX、VITが伸びやすく、AGI、INT、WISは伸びにくい。

前衛としては一番バランスが良い種族。

魔術は自己強化系以外は使えない。

【狂化】、【完全狂化】の種族固有スキルが使える。

武具は重量級まで装備できる。

○『巨人族』

見た目は『人族』とほぼ変わらないが、身長が5mほどとかなりでかい。(『VLO』ではそれ以下に設定できない)

ステータスは見た目通りSTR、VITがずば抜けていて全種族トップ。

ただしAGIはワーストで、しかも魔術は一切使えない。

さらに装備できる武具が他種族と比べ、かなり少なく、その辺りはかなり不便。

しかしそこら辺に生えている木を引っこ抜いて殴っても、かなりの攻撃力になる。

最大のデメリットは魔力が無いので、魔導兵装が使えないこと。

武具は重量級まで装備できる。

●『不死族』

ぶっちゃけ魔物。ある特殊なクエストをクリアすると、プレイヤ―も転生できるらしい……

『VLO』で確認されているのは、ヴァンパイア『吸血鬼』のみ。

『スケルトン』や『デューラハン』などにも転生できる――という噂もあるが、真偽は不明。

ヴァンパイア
○『吸血鬼』

見た目は肌は白く、髪は金髪か銀髪で瞳が紅い。美形が多い。

当然、犬歯は牙のように長く鋭い。

スペックは高いが、上位種族になるまではとにかく弱点が多い。

弱点は銀製の武器、ミスリル製の武器や光属性と聖属性魔術などなど。

昼間はステータスにマイナス補正が、夜間はプラス補正がかかる。魔術は光属性と聖属性以外は全属性を使え、邪属性ですら扱える。上位種族は『真祖』と呼ばれ、弱点がある程度は緩和される。

武具は中量級までは装備できるが、光属性、聖属性の武具、銀製、ミスリル製などの武具は装備できない。

●『神族』

『VLO』ではGM専用の種族。

故にスペックなどは一切不明。

『ヴェルガディア』では神界にいる。

●『精霊族』

各属性を司る精霊たち。

各精霊王を頂点とし、上級精霊、下級精霊などが存在する。

神獣の中にも眷属がいて、精霊王に仕えている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2714y/>

竜殺しの英雄 設定集

2011年11月8日04時19分発行